

拝啓 春日のどかなうらかな季節の訪れとなり、貴家におかれましては、ますますご清適のこととお喜びいたします。

さて、来たる五月十五日をもちまして、老父が満八十八歳の米寿を迎えることとなりました。高齢にもかかわらず、未だに仕事を続け、私ども家族の無知をしばしば叱りつける心身の健康は、皆様の日頃のご芳情やらご高配のお陰と、改めて厚くお礼を申し上げます。

つきましては、老父の長寿を慶祝し、皆様の格別のご交誼に感謝すべく、祝宴を張りたく存じますので、下記の要領にてご隣席たまわりますよう、謹んでご招待申し上げます。ご繁忙の折から誠に恐縮至極に存じますが、老父はもとより私ども家族も、皆様のおいでを楽しみにしておりますので、お繰り合わせのうえお運びくださるようご懇願申し上げます。

とりあえずご招待まで申し上げます。

敬具